

支えあい通信



今伊勢町連区

地域の「お宝」を紹介します!



「支えあい通信を見て、私たちの活動も地域の『お宝』として紹介してほしい!」
今回は、ふれあいカフェに携わる方からお話をいただき、今伊勢町新神戸における取り組み（お宝）について取材しました。

横のつながりを大切に!

今伊勢町新神戸では、町内会、子ども会、老人クラブという縦割り状態から、横のつながりへ変えようと動き出しています。3か月に1回、その三者が中心に集まった運営会議が開かれ、三世代が交流できる企画を考えたり、地域の課題解決に向けた話し合いをしたりしています。その企画の一つとして、月に1回、「新神戸ふれあいカフェ」が開かれています。



「新神戸ふれあいカフェ」とは?

毎月第3日曜日、新神戸公民館で開かれています。老人クラブのメンバーが中心となって運営しており、当初は高齢者向けのサロンで出前講座を中心とした内容でしたが、1年程前からパンやヨーグルトなどのモーニング形式を取り入れ、令和6年3月に初めて親子講座が行われるなど、三世代交流ができる場となりました。防災や家族に関する講座が企画され、参加される皆さんが楽しみながら学び、気軽に相談できる居場所として取り組んでいます。



(高齢者向け)防災について学ぶ

スマートフォンや動画を使い、災害時に正しい行動ができるのかをシミュレーションしたり、注意すべきことを確認したり、楽しみながら学んでいます。



(親子講座)朗読劇を通して意義を伝える

子どものいじめや不登校、親の育児ストレスなどの問題に対し、ふれあいカフェが解決に向けて意義があると日常会話形式で伝えていきます。「このふれあいカフェは、高齢者と若い世代が互いに支えあう関係を作ることが目的である」と劇で紹介していました。



令和6年は、8月と11月に親子講座の企画を予定しています。

主催者としての思い「地域で子どもを育てることが願い」

この地域には、元教員、カウンセラーといった専門職や防災サークルなど、素晴らしい人材や人脈がある方々がたくさんいらっしゃり、市外の方も活動に協力してくださっています。「絆をつくり、人材を活かして地域課題に徹底して取り組みたい」との熱い思いがあります。

取材を終えて…

分かりやすい朗読劇や面白い動画を取り入れるなど、話し合いを重ねながら参加しやすい工夫がされていることがよく分かりました。取材中にも参加者から笑い声が聞こえてきました。主催者の熱い思いが、子どもたちにも届いていくと思います。今後も、どのような活動に発展していくのか楽しみです!